スクープ

学校体育館 エアコン設置
物価高騰対策 一部実現！！

日本共産党流山市議団が今年7月19日に提出した緊急要望書に盛り込まれた事業が一歩前進しました。

障害者福祉・介護施設 保育園への公費助成が実現

8月23日に開催された市議会全員協議会では、第3回定例会（9月1日開会、10月4日閉会）に提出される議案が説明されました。

補正予算議案には、市内23小中学校全ての体育館にエアコン設置費用（来夏までに設置）が約20億円（100%市債）に加え、物価等高騰対策に係る経費として総額2億6千万円余（100%国費※『新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金』）が盛り込まれました。

党市議団は、今年6月、市内小学校で集団熱中症の発生に対する緊急質問を実施し、体育館へのエアコン設置を強く求めてきました。また、7月19日には、緊急要望書を市長へ提出し、物価等の高騰や感染症の対策を求めてきました。



今回、市の補正予算案には、党市議団が要望した「介護関連施設への公費助成」として7千万円、「障害者関連施設への公費助成」として5200万円、「保育所・園の給食費公費助成」として7600万円、計2億円が予算案に盛り込まれたことになります。

物価等の高騰対策では、第2回定例会の一般質問で取り上げた「学校給食に対する公費助成」6千万円余の実現に続き、約2億円の支援が実現。市民の声が大きく反映されました。

また、学校体育館へのエアコン設置では、「災害時の避難所運営に欠かせない」と繰り返し唱えてきた党の提案が執行部の提案理由の一部に盛り込まれました。市民の力で勝ち取った確かな成果です。

学校施設の老朽化対策も同時に着手できるよう、引き続き頑張ります。ご支援・ご協力をお願い致します。



流山市議会議員

植田 和子

流山民報（２２．８．２４号外） 発行：日本共産党流山市議団 ０４－７１５７－６１４０